

一般社団法人 三重県作業療法士会 広報誌

OTみえ

No.137

2022.10

NEWS

第21回東海北陸作業療法学会開催のご案内

学会テーマ「伝えよう!作業療法の魅力—健康を支える作業の力—」

contents

【広報部からのお知らせ】

掲載内容について

会員の皆様へ：広報誌への掲載希望、要望についてご意見をお聞かせください。

広報部 e-mail: kouhoumie@gmail.com

【巻頭言】

第21回東海北陸作業療法学会のお知らせ

第21回東海北陸作業療法学会 学会長 田中一彦（松阪中央総合病院）

【知人 de リンク】

医療法人 思源会 第二岩崎病院 村上琴美

医療法人 永井病院 田邊恭平

【施設紹介】

医療法人 永井病院

【令和4年度一般社団法人三重県作業療法士会 定時社員総会】

定時社員総会後の意見交換会 一般社団法人三重県作業療法士会 副会長 松本周二

定時社員総会とグループディスカッションに参加して みなとデイサービスセンター 森田浩二

【市民公開講座での講演】

「認知症予防」について デイサービスセンター渚園 工藤元貴

【各部局、委員、ブロックの活動報告】

作業療法啓発部より／リハレンジャー LINE スタンプ作成：進捗状況の報告

地域リハビリテーション部より／地域で活躍できる作業療法士育成研修

福利部より／新入会員交流会を開催して

運転と作業療法委員会より／運転再開に必要な関連法規

北勢ブロック学習会／北勢ブロック学習会の感想

広報部より／作業療法の日 特設ページが開設されました

【イベント・研修会情報】

みえ福祉用具フォーラム 2022 のお知らせ

【勉強会 / 研修会のお知らせの掲載について】

勉強会、研修会の詳しい内容は、三重県作業療法士会ホームページをご覧ください。 <http://mieot.com/info-cat/study/>

【求人情報】

求人情報の詳しい内容は、三重県作業療法士会ホームページをご覧ください。 <http://mieot.com/info-cat/job/>

【編集後記】

表紙写真：志摩市 安乗埼灯台の夜明け

三重県作業療法士会会員数 678 名 施設会員 636 名 自宅会員 42 名 賛助会社 3 社

Topics

第21回東海北陸作業療法学会 開催のお知らせ

学会長 田中一彦（松阪中央総合病院）



東海北陸作業療法学会ご存じですか？ 参加されたことはありますか？ ホームページをご覧くださいになりましたか？

当学会は、東海北陸7県士会が持ち回りで開催されているもので、7士会の作業療法士の学术交流の場として20年以上の歴史があります。第21回学会は、三重県が担当となりました。三重県士会の会員の皆様には、ホスト県の会員として、学会に参加し参加者のおもてなし、交流をお願いしたいと思います。

今回の学会テーマは、「伝えよう！作業療法の魅力ー健康を支える作業の力ー」です。学会に参加することで、作業の力を再確認し、作業療法の魅力を各人が発信、啓発することを想い、学会テーマを設定しました。

作業療法士は作業が健康を支えているという事実を知っています。しかし国民、関係職種の方は、作業の力や魅力を理解しているでしょうか？作業療法士が誕生してまもなく60年を迎え、先輩方の努力により作業療法の効果は示されてきましたが、今一度作業療法の魅力を国民に伝える努力をし、国民から選ばれる職種として生き残っていかなくてはなりません。

東海北陸地区の英知が集まる本学会を作業療法士だけの交流会だけにとどまらず、日頃から交流している多職種の方、作業療法士を目指す学生さんなど多くの方に参加していただき、作業療法の魅力を知っていただくきっかけにしたいと思います。

今回の学会は、COVID-19の影響のためWEB開催としましたが、ライブ配信プログラムの他オンデマンドプログラムも準備しましたので、期間中は何度でも聴講することが出来ます。主なプログラムとして、一般演題発表では質疑を通しディスカッションが可能となっています。様々な分野の実践が学べる貴重な機会ですので、積極的な参加をお願いしたいと思います。基調講演では、「作業の力で支える、その人らしい終焉」と題し講演をいただきます。人生の最終段階ではそのひとらしさを示す作業がおのずと焦点化されますが、その過程を作業療法理論と哲学に基づき学ぶことができます。公開講座では、サーフィンをもう一度したいという若年性認知症の方の想いが多くの人々の心を動かし大きなプロジェクトにつながりました。当事者のやりたいことに気づく視点やプロジェクトの経緯から学べた点をお話いただきます。シンポジウムでは、活動・参加支援の実践として旅行をテーマに3名のシンポジストと参加者でディスカッションを行います。また養成校に所属している学生を対象としたイベントもあり企画・運営を学生主導で行いながら作業療法の魅力を語りあっていただきます。その他様々な分野のスキルアップセミナー(4講座)、教育講演(4講座)、バーチャルオフィスツールを用いたオンライン交流会、対象者の健康作りに影響を与えた作業活動や作品の募集等もあります。

以上のように当学会のプログラムは、知識・技術・資質を高められる魅力的なものとなっています。

友人、知人、職場の多職種の方をお誘いいただき、作業療法の魅力を語りあえる場にしたいと思います。皆様のご参加、実行委員一同お待ちしております。



知人 de LINK



医療法人 思源会 第二岩崎病院 村上琴美

皆様、こんにちは。前回、亀山あんしん訪問看護ステーションの宮下和也さんより紹介いただきました、医療法人 思源会 第二岩崎病院の村上琴美です。

Q: 紹介者や学生時代のエピソードなどお願いします。

A: 宮下さんとは専門学校時代の同級生です。宮下さんは勉強や行事などに対して一切手を抜かず何事にも全力で取り組む姿勢が印象的で、クラスメイトからも頼られる存在でした。卒業後、会う機会は少なくなりましたが、時々連絡を取りお互いの近況報告をしています。

Q: 業務内容・仕事内容についてお願いします。

A: 現在、私は津市にある第二岩崎病院の回復期病棟に勤務して約3年が経過しました。入社してからというもの新型コロナウイルス感染症の影響で新人研修が中止、様々な勉強会や学会においてもzoomでの開催と規模が縮小される中、職場の先輩方が臨床で役立つ知識や技術を丁寧に分かりやすく教えて下さり、支えていただきながら働く事が出来る環境にとっても感謝しています。臨床では、知識や技術不足で至らない点ばかりですが、患者様とリハビリをしていく中で、患者様やご家族様から感謝された時に、嬉しさと共にやりがい得られ、この職業の素晴らしさと誇らしさを身に染みて感じる瞬間があります。改めて作業療法士という職業を選択して良かったと思っています。

Q: プライベートな趣味・特技・マイブームなどお願いします。

A: プライベートでは、旅行以外の趣味を探していたところ、写真を撮る事が好きという事に気づき、昨年カメラを購入し1年が経過しましたが、まだまだ初心者です。不慣れながらも構図を考えながら様々な角度から花や風景を撮る事の楽しさや、自分の中で綺麗に撮れた時の達成感と満足感が良い刺激となり気分転換にもなる為、自分の中のQOL向上につながっていると感じています。新型コロナウイルス感染症が収束した際には、趣味の旅行で様々な場所に行き素敵な写真を沢山撮りたいと思っています。

Q: 次へリンクする方とのエピソードなどお願いします。

A: 次回は、専門学校時代の同級生で、小山田記念温泉病院に勤務している伊藤奈々子さんを紹介させていただきます。よろしくお願ひ致します。



医療法人 永井病院 田邊恭平

皆さまこんにちは。前回、三重つくし診療所リハビリセンターの村田侘さんより紹介いただきました、医療法人永井病院の田邊恭平と申します。

Q: 紹介者や学生時代のエピソードなどお願いします。

A: 村田さんとは学生時代から共に学び、またそれ以上によく遊んだ仲で、現在でも親しい間柄であります。

Q: 業務内容・仕事内容についてお願いします。

A: 私は現在勤務している病院に入職してから約3年間回復期病棟にて治療の基礎や考え方、介護保険等を利用した退院時支援の行い方を学んできました。そして現在ではそれらの経験を生かすべく、かねてから興味があった訪問リハビリ部門へ部署異動となり1年が経ちました。初めの内は医療保険と介護保険の制度の違いや、治療の展開に関して戸惑う日々が続いていました。そのような中で利用者様や家族様とコミュニケーションを積極的に図るうちに行うべき治療が見出せたような感覚がありました。今では少しずつではありますが利用者様を主体に考えた治療を展開できるようになってきた自覚と、利用者様との距離の近い関係性を築ける訪問リハビリの特色に楽しさを見出しています。

Q: プライベートな趣味・特技・マイブームなどお願いします。

A: プライベートでは、新しい趣味として幼い頃から好きだった絵を描くことを始めました。现阶段ではスケッチ程度のレベルであり、全て独学で描写しているため中々上達しづらいますが、それもまた一興であり時間のある時には鉛筆を握っています。題材は絵画の心得がある利用者様から勧められた“馬”を描くことが多いです。今後は絵画教室に通ったり、コロナ禍が落ちついたら動物園や牧場などに足を運び、様々な動物を描けるように練習を重ねていきたいです。

Q: 次へリンクする方とのエピソードをお願いします。

A: 次回は専門学生時代のクラスメイトであり、いつでも頼りがいのあった医療法人紀南会熊野病院で勤務されている金野あやねさんを紹介させていただきます。よろしくお願ひ致します。



施設 紹介

医療法人 永井病院

服部晴美



1. 施設紹介

医療法人永井病院は津市にある病院で、近鉄津新町駅より徒歩6分の場所にある地域密着型の病院です。第二次救急医療施設指定を受け、地域医療に重要な役割を果たしています。主な診療科は、循環器内科・消化器外科/消化器内科・整形外科・内科/外科/心臓血管外科・リハビリテーション科があります。平成30年には新棟が完成し、救急外来から集中治療室、手術室へと円滑な動線が確保され、緊急入院や緊急手術が必要な方への迅速な対応が可能となりました。改築にあたり、リハビリ室も新しく稼働しております。

リハビリは急性期病棟、回復期リハ病棟、外来リハ、デイケア、訪問リハがあり、PT・OT・STがそれぞれの専門性を活かしてリハビリを提供しています。リハビリテーション部門は理学療法士33名、作業療法士9名、言語聴覚士4名の計46名が在籍しています。作業療法は脳血管、運動器、廃用症候群の患者様を対象に実施しています。

2. 仕事紹介

1) 外来、急性期

当院には手の外科専門医が在籍しており、手・肘・肩の治療も積極的に行っています。リハビリでは医師との連携をとりながら専門性の高いハンドセラピーが提供できるよう取り組んでいます。また、当院での運動療法だけでなく、自宅でのトレーニング方法、日常生活での注意点などもお伝えし、患者様に合わせたリハビリを実施しています。

2) 回復期リハビリテーション病棟

回復期リハ病棟では、当院の急性期病棟からの患者様や他院から転院の患者様を受け入れております。週7日、365日通してリハビリを実施し、一日でも早い症状の回復やスムーズな社会復帰を目指して患者様のサポートをしています。患者様が入院後、作業療法士をはじめ、理学療法士、言語聴覚士、看護師、医

師が集まり、カンファレンスを実施します。その後、患者様、ご家族と面談を行い、リハビリの目標やリスク、退院後の生活についての情報を共有します。回復期リハの回診に加え、週に1度は整形外科医の回診、また月に1度三重大学整形外科教授を招いてのカンファレンスを実施し、専門性に特化した診療・リハビリを行っています。OTは病棟とスタッフと連携しながらADL練習を中心に患者の自立度が少しでも上がるよう介入しています。

3) 通所リハビリ

当院でもデイケアと訪問リハビリの介護保険サービスも行っています。

当院のデイケアは1クール60分で集中的に機能回復訓練や予防リハビリを提供しています。津市内の方だけでなく、市外の方などからも多くの方に利用していただいています。訪問リハビリは多くは当院から退院された方で生活に不安を感じている、津市内の利用者様のご自宅や施設へ訪問させて頂いています。様々な分野を経験した療法士が従事しています。



[令和4年度一般社団法人三重県作業療法士会定時総会報告]

定時社員総会後の意見交換会の開催

一般社団法人三重県作業療法士会 副会長 松本周二

令和4年6月12日(日)に会員数644名のうち定時社員総会参加人数58名(委任状での参加449名)で定時社員総会が行われました。第3号議案で役員・部員の報酬について協議され、総会終了後に出席者と理事を中心に意見交換会を行いました。

Q1. 日本作業療法士協会では支払われていない非常勤の理事及び幹事、部員等への報酬を三重県作業療法士会が支払う理由をどのように考えていますか？

A. まず、日本作業療法士協会と三重県作業療法士会は、別組織なので、日本作業療法士協会の規定は、参考にはしますが、三重県作業療法士会独自の規定で運用を行う事は問題ありません。

役員報酬と言う科目になっていますが、これは従来お支払いしていた、会議費、交通費を含んだものとなっています。

また、今回は、会議参加者や研修会実行委員だけに支払いを行っていたものを、イベントを行うための準備や事務局、財務部、広報部などで行われている事務作業などの活動に対しても適応できるよう、役員報酬として科目を変更しました。

Q2. 部員として所属すれば5,000円の報酬が得られるということになりますが、活動実績はどのように開示されますでしょうか？活動の適切性がなければ、報酬を支払うことに疑問が生じる可能性があります。

A. 現在、会議参加者などは議事録で参加者の記録を残しています。

研修会実行委員などの協力者は、各部局委員会で、名簿を作成しており、年度末に事務局で取りまとめています。

理事会議事録はホームページで公開していますが、その他の議事録、名簿は事務局保管としていますので公開はしていません。

部員の活動実績の確認は、部長、委員長の責任で、管理を行い、適切に申請を行いますので、名簿公開は予定していません。

なお、活動実績の無い部員への報酬支払いはありません、また、会計監査時に部員参加名簿を提出して確認を行います。

社員総会は、法人の重要事項を決定する機関です。当法人が活動を発展、継続していけるよう、皆様からのご意見を大切に、しっかりと協議させていただきます。

社員総会とグループディスカッションに参加して

みなとデイサービスセンター 森田浩二

令和4年6月12日(日)に令和4年度一般社団法人三重県作業療法士会定時社員総会とグループディスカッションに参加しました。

今年度もZoomによるWeb開催であり、グループディスカッションでは10名程度のグループに分かれて実施し、県内の施設で管理職をされている先生方から今年度の新入会員まで様々な立場の方が参加されZoomの映像を映さず、ニックネームでの実施であり、皆さんから忌憚のない意見が集まりました。

日々の業務に追われ県士会活動になかなか参加出来ていなかったが、意見交換を通じて、私自身の課題である管理業

務や新人教育などの解決の糸口を見つけることができ、貴重な体験となりました。また他の領域の先生方との交流は新たな発見や気づきを得る機会にもなりました。今後も新人を含め、積極的に県士会活動に参加していきたいと思えます。



〔市民公開講座での講演〕

認知症予防について

デイサービスセンター渚園 工藤元貴

令和4年7月17日に開催された、三重県理学療法士会主催の市民公開講座「健康を保つための秘訣」にて、認知症予防について講演させて頂きました。今回の市民公開講座では、PT・OT・STによるリレー式での講演で、PTからは腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症、脊柱圧迫骨折、慢性腰痛について、STからは嚥下障害についての講演がありました。オンライン開催ですが、市民や専門職の約100名の参加があり、とても関心があった内容だったと思います。

各講師の先生のお話は、エビデンスに基づいた内容を誰にでも分かりやすくお伝えしており、私もとても勉強になりました。認知症予防の講演では、認知症の基礎知識をお伝えし

た上で、認知症発症のリスク要因とリスク軽減のためにできる予防方法をなるべく分かりやすいようにお話ししました。

OTとしてお伝えしたかった「意味のある作業の継続」をいかに分かりやすく、また具体的にすることに工夫が必要でしたが、人それぞれの楽しみや思い出を振り返ったり、日常生活での役割や人との関わり大切さをお伝えするようにしました。

今回、大変貴重な機会を頂き、地域住民へお伝えする事の大切さを感じる事ができ、とても勉強になりました。今後、実際に地域住民の声を聞きながら活動できる場をつくっていきたいと思いました。

〔各部署、委員、ブロックの活動報告 1〕

リハレンジャー LINE スタンプ作成：進捗状況の報告

作業療法啓発部 谷口功一

皆様、こんにちは。啓発部から「リハレンジャー LINE スタンプ」作成の活動状況をお伝えします。

これまで啓発部は、三重県における作業療法の普及と発展を促進し、地域医療の向上に資することを目的として活動してきました。例えば、県民を対象に福祉用具の利用を促進する一般公開講座を行ったり、ラジオにて認知症の作業療法について説明を行ったり、高校生作業療法体験を行い高校生に対し、施設での体験や見学を通じて、作業療法士という職種について理解を深めてもらったりもしました。

また、子どもから成人まで幅広い年齢層を対象にした作業療法の啓発キャラクターである「リハレンジャー」を誕生させ、県内で行われる健康に関するイベント等に参加しております。「作業療法士：リハレンジャー」といった名称を知ってもらうとともに、リハビリテーションや健康増進を支援する職種である作業療法士の役割についての啓発活動を行ってきました。

このように今までは対外的な取り組みを中心に行ってきたのですが、若い県士会員の方などは「リハレンジャー」の存在自体知らないのではないかとといった疑問も露呈してきました。

そこで、県士会員の皆様に「もっともっとリハレンジャーの事を知ってもらおう!」という話がきっかけで、今年度は対内的な試みを行ってみようということになりました。過去に、「リハ

レンジャーの LINE スタンプが欲しい!」と言った意見が寄せられたこともあり、リハレンジャー LINE スタンプを作成することと致しました。現在リハレンジャーの LINE スタンプ自体は完成しており、登録作業を行っている最中です。今後、県士会の LINE を登録している会員の方に配布（販売になるかもしれませんが）していく予定ですので完成を楽しみにお待ちください。

最後に今回の配布（販売になるかもしれませんが）に伴いどの程度の方がスタンプをダウンロードしたのか?ということ把握出来ればとも思っています。方法に関しては検討中ですがアンケート形式で行っていくことになると思いますので、その際には皆様にも御協力頂ければと思っています。

この機会に是非、県士会員の皆様に三重県作業療法士会の啓発キャラクターであるリハレンジャーの LINE スタンプをご使用いただければと思います。今後とも、よろしく願います。



【各部署、委員、ブロックの活動報告 3】

【運転と作業療法委員会】運転再開に必要な関連法規

運転と作業療法委員会 宮坂裕之

令和3年度の運転と作業療法委員会主催の研修会において、アンケート調査をした結果、基本的知識の研鑽が必要であることがわかりました。そのような中、広報誌「OT みえ」134号において、運転再開までの流れについて簡単に解説しました。本号では、関連法規について解説します。

「運転免許の拒否等を受けることとなる一定の病気等について」は表1の病気が該当します。表1で「条件あり」というものは症状のコントロールが可能か、総合的に判断して運転が安全か、などが該当します。その他、「運転免許の取消し又は効力の停止を受ける場合」として、表1の病気以外に表2の症状があります。まずは、運転再開を考える以前に、病気や症状によっては、運転再開ができない場合があります。作業療法士として患者様と関わる際は、基礎知識として覚えておきましょう。

今年度より、運転と作業療法委員として2名の委員が新たに加わりました。運転支援に興味のある方は、一緒に勉強してみませんか？

表1 運転免許の拒否等を受けることとなる一定の病気等について

- a. 認知症
- b. アルコール、麻薬、大麻あへん又は覚醒剤の中毒
- c. 統合失調症（条件あり）
- d. てんかん（条件あり）
- e. 再発性の失神
- f. 無自覚性の低血糖症（条件あり）
- g. そううつ病（条件あり）
- h. 重度の眠気症状を呈する睡眠障害
- i. その他、安全な運転に必要な認知、予測、判断又は操作のいずれかに係る能力を欠くもの

表2 運転免許の取消し又は効力の停止を受ける場合

- j. 目が見えないこと、その他自動車等の安全な運転に支障を及ぼす恐れがある身体障害
- k. 体幹機能障害により腰をかけていることができない
- l. 四肢の全部を失ったもの又は四肢の全廃したもの

北勢ブロック学習会の感想

鈴鹿中央総合病院 角 綾香

令和4年8月21日に開催された、北勢ブロック学習会「特別支援学校の作業療法士～学校でOTが生きるには～」に参加させていただきました。

私は学生時代から発達障害領域に興味があり、支援を必要とする子どもに少しでも関わってみたいと思い、大学在学中に放課後等デイサービスでアルバイトをしていました。しかし、私は現在身体障害領域で働いており、発達障害領域で働いている友人も少なく、なかなか直接話を聞ける機会がないため、本学習会はとても貴重な機会となりました。

本学習会では、三重県の特別支援学校で働く3名の作業療法士の先生と、神奈川県養護学校で働く作業療法士の先生による講演を聞くことができ、発達障害領域に携わる作業療法士の働き方、特別支援学校で働くことの難しさややりがいなどを知ることができました。特別支援学校では、作業療法士が子どもへの直接関わることは少なく、教員が主体性を持って子どもへ関わられるように支援するといった点に驚きました。また、講師の先

生は、学校という教育の場で働く中で「学校の先生」として業務をこなしながらも、「作業療法士」として生きる方法を日々模索していると聞き、様々な場面で作業療法の可能性を広げてくださっている先生方がいることを知り、感銘を受けました。

コロナ禍が長引いていますが、今後もオンライン学習会を利用して普段関わっていない領域での作業療法についても知っていきたいと感じました。



【各部署、委員、ブロックの活動報告 4】

作業療法の日 特設ページが開設されました

広報部 宮坂裕之

作業療法の啓発活動として、日本作業療法士協会が「作業療法の日」の特設ページを開設しました。特設ページでは、各都道府県の「作業療法の日」のイベント情報を確認することができます。また、各都道府県のホームページにも素早くアクセスでき、各士会の活動状況を知ることができます。

作業療法の啓発活動に使用できるオーティクンの公式デザインもありますので、ご希望の方は広報部までお問い合わせください。

広報部メールアドレス：kouhoumie@gmail.com



作業療法の日特設ページ



オーティくん公式デザイン

【イベント・研修会情報】

「みえ福祉用具フォーラム 2022」のお知らせ

福祉用具の普及・啓発、福祉用具関係者の交流の場として「みえ福祉用具フォーラム 2022」を開催します。

日時：令和4年11月11日（金）10:00～15:30

会場：三重県身体障害者総合福祉センター

（みえテクノエイドセンター）

津市一身田大古曾670番地2

内容：

- (1) 福祉用具や自助具の展示と体験
(10:00～12:00 13:00～15:00)
※ 午前、午後の2部制 各定員：80名
- ・ICT 機器を中心とした福祉用具の展示と体験
 - ・みえライフイノベーション関連企業による展示と体験
 - ・自助具製作ボランティアグループによる自助具の展示と体験

(2) 講演・発表 (13:30～15:00)

講演「介護現場における ICT 活用とは？」

講師 中部学院大学 看護リハビリテーション学部

教授 井村 保氏



発表「ICT 導入支援と活用」

三重県医療保健部長寿介護課、ICT 活用施設

定員：50名

(3) 第17回みえ福祉用具アイデアコンクール2022表彰式

(15:10～15:30)

アイデアコンクール受賞者の表彰と受賞作品の紹介

定員:50名

参加費:無料

※すべての内容に事前登録が必要です。また、人数制限をさせていただきます。

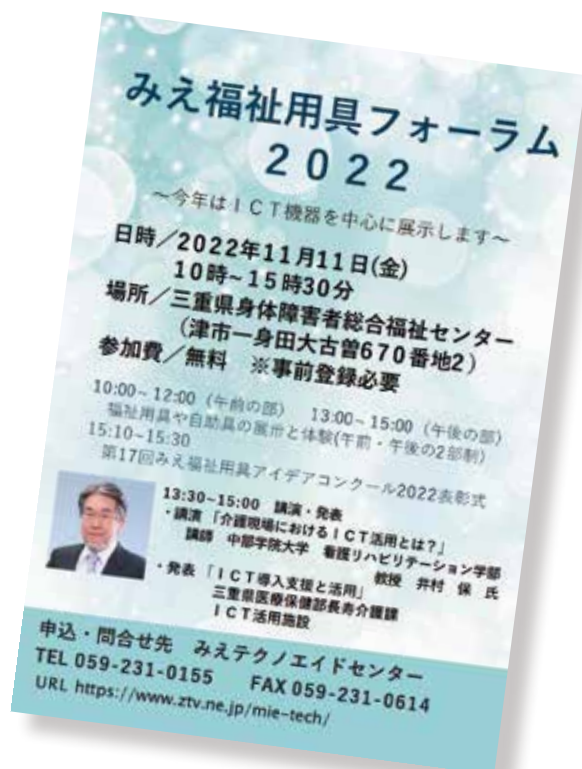
申し込み・問合せ先

みえテクノエイドセンター

TEL: 059-231-0155 FAX: 059-231-0614

<https://www.ztv.ne.jp/mie-tech/>

※新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン開催に変更する可能性があります。ホームページをご確認ください。



[賛助会員のご紹介]

NihonMokki のパズルレンタルのご案内

指先運動とパズルで脳トレ!科学誌ニュートンにコラムを掲載していた Asobidia の本格パズルが定期的に届きます。

レンタルなので、パズルに飽きたころに新しいパズルが届きます!

お問い合わせは こちらの QR コードから



日本モッキ

https://www.nihonmokki.jp/puzzle_rental/

0596-65-6039

e-mail wood@nihonmokki.jp

Puzzle Rental

Vi-dere(ウィデーレ)はVR技術を用いて、机上検査ではできなかった、三次元的評価を実現しました。

無視領域をマッピングを用いて可視化

独自のスリットシステムによる介入訓練が可能

日常生活に近いADL訓練課題も搭載(食事・通路通過など)



撮影協力: 亀田リハビリテーション病院様

視覚認知領域を定量的にマッピング化かつADL場面を含めた評価・訓練が可能になりました



株式会社システムネットワーク

衣食住は、生活の基本です。

あらゆる人々が快適に着心地の良い衣服を選んで欲しいと願っています。それは高齢者、障がい者の方も同じです。当社は高齢者の暮らしに寄り添い、溶け込むことを最優先に、より良い生活を送るための洋服を提案しています。衣服のことでお困りごとがあれば、お気軽にお声掛けください。



半開なので
かぶりやすい



持ちやすい形状



当社は洋服の機能をわかりやすくするために単純なデザイン説明(ピクトグラム)を使用しています。

円背・前傾の
方に対応



田中センイ株式会社 担当者: 田中友明
〒518-0444 三重県名張市箕曲中村 207
TEL: 0595-63-7851
HP: <http://www.tanakaseni.co.jp>

[勉強会 / 研修会のお知らせの掲載について]

勉強会、研修会の詳しい内容は、三重県作業療法士会ホームページをご覧ください。

<http://mieot.com/info-cat/study/>

[求人情報のご紹介]

求人情報の詳しい内容は、三重県作業療法士会ホームページをご覧ください。

<http://mieot.com/info-cat/job/>

[編集後記]

本号の原稿を確認している9月の時点で、夏の暑さもひと段落し、朝晩は過ごしやすい日が続いています。今年の夏は、梅雨明けが早く、猛暑日が続いたり、突然の雷雨があったり、おかしな夏でした。会員の皆様はどんな夏の思い出がありますか？

さて、9月25日は「作業療法の日」って知っていましたか？知っている方は少ないかもしれませんが、私たちの職種がどのような歴史を持っているのか非常に興味があります。

来月(11月)、第21回東海北陸作業療法学会が三重県で開催されます。オンデマンドによる配信が中心ですが、一部のイベントはライブ配信されます。対面であれば、きっと多くの参加者が来場していたと思わせる内容になっています。12月11日(日)までは全てのイベントがオンデマンドで視聴できます。時間を見つけて視聴してみてください。

(編集: 宮坂裕之、部局員: 伊藤篤史、渡邊 誠、岡田拓朗、萩野 創)

発行所

〒514-1296

三重県津市大鳥町424-1

藤田医科大学七栗記念病院内

一般社団法人三重県作業療法士会 広報部

発行責任者: 田中一彦

事務局

〒512-1111 三重県四日市市山田町5538-1

小山田記念温泉病院 リハビリテーションセンター内

一般社団法人三重県作業療法士会 事務局

TEL: 059-328-1260

FAX: 059-337-9511

e-mail: mieotjim@yahoo.co.jp